

リヤスポイラー

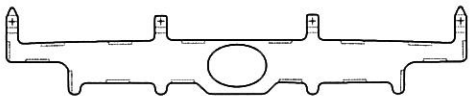
取付要領書

品 番

品 番

08150-50030

構成部品

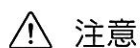
	No.	品 名	品 番	個数
① 	①	リヤスポイラー	—	1
② 	②	ナット (M6)	—	4
③ 	③	型紙	—	1

補給品番

品 番	品 名	構 成 部 品
08150-50035	本体セット	本体 (素地)、②~③、両面テープ、シールパッキン
08150-50039	フィッティングキット	②~③、両面テープ、シールパッキン

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。



注意

．．． 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどの恐れがあります。

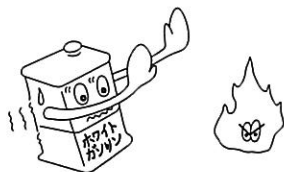


アドバイス

．．． スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

1. 取り付け前に、バッテリーの（－）端子を外してください。（バッテリー端子脱着の際、必ずエンジンスイッチをOFFにしてください。）
2. 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がないように部品毎に整理し、復元する際、間違えないように配慮してください。また、部品に傷を付けたりしないように取り扱いに注意して作業を行ってください。
3. リヤスポイラーを取り付ける際ラゲージドアをホワイトガソリンを使用して拭いてください。拭き取りを怠ると両面テープの接着力低下の原因となります。その際、火気を近づけないよう十分に注意をしてください。
4. 外気温度が15℃以下の場合は両面テープの接着力が低下しますので、接着作業の際、接着テープおよび取り付け面をヘアードライヤーで暖めて取り付けてください。
5. コネクターの取り外しは、コネクター本体を持って外してください。また、接続は確実に行ってください。
6. ハーネス類は、強く引っ張らないでください。ハーネスの断線やコネクター外れの原因となります。
7. 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
8. バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

●ホワイトガソリンには火気を近づけない



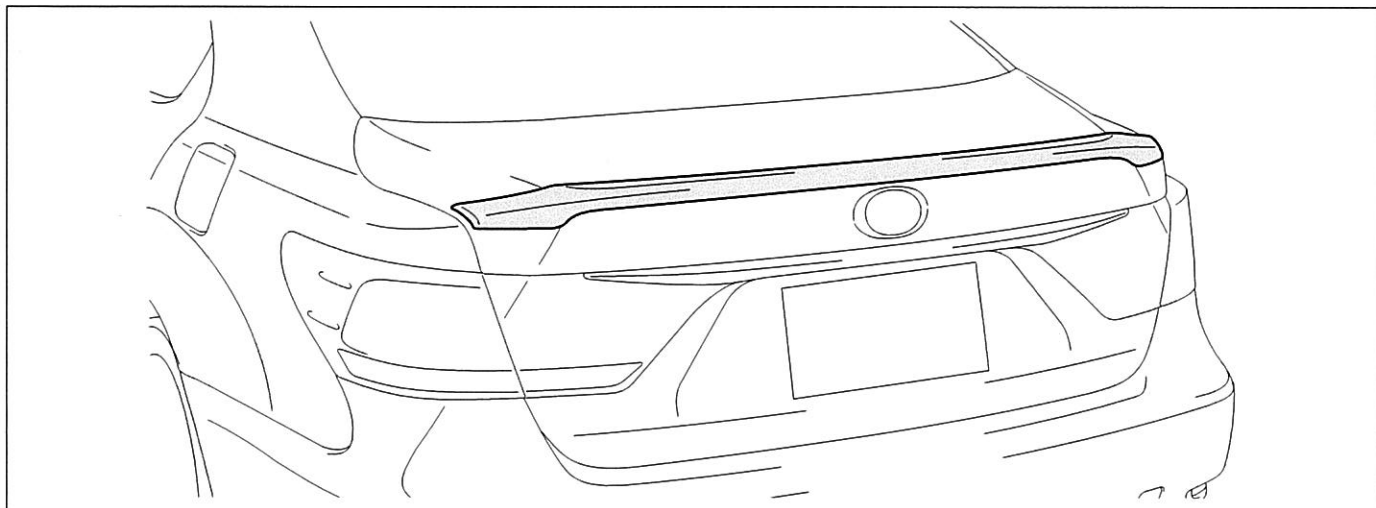
●15℃以下の場合は接着部を暖める



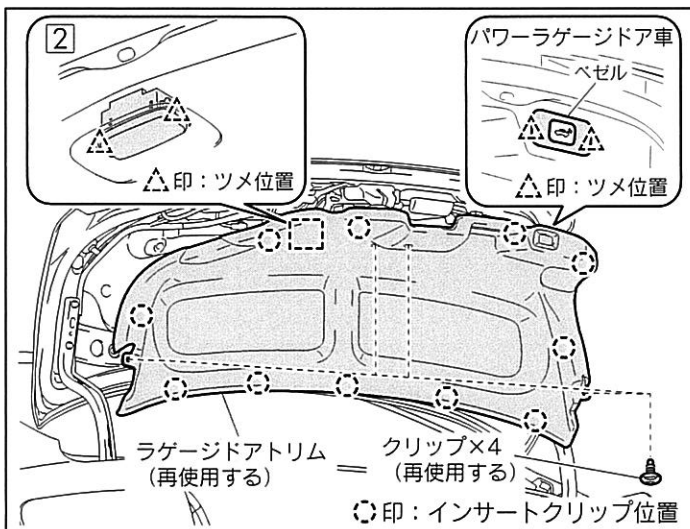
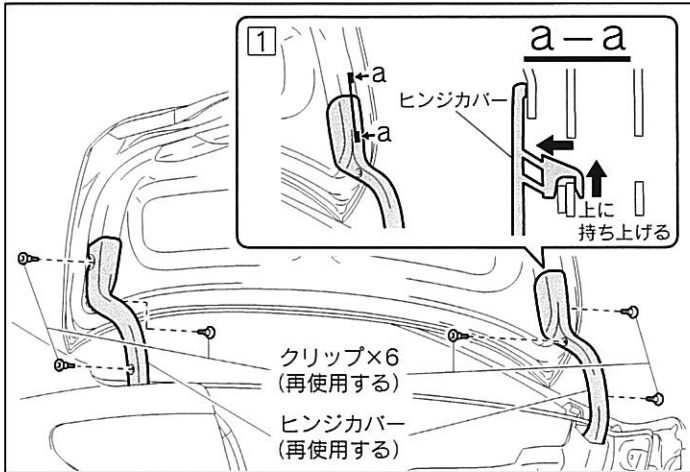
取り付けに必要な工具等

一般工具、電動ドリル（φ3、φ7、φ10）、クリップリムーバー、ガムテープ、マスキングテープ、ホワイトガソリン、ウエス、ポンチ、マグネットハンド、小型ヤスリ、隙間ゲージ、防錆剤、掃除機、マスキングシート、ヘアードライヤー（15℃以下の場合）

取り付け概要



車両部品の取り外し



ラゲージドアの開閉作業はすべてイグニッションキーを使い行ってください。

車両部品の取り外し

1. ラゲージドアを開ける。
2. 左図 (1) の要領で、ラゲージドアのヒンジカバーのクリップ (RH/LH 各 3箇所) を取り外し、上に持ち上げながらヒンジカバーを取り外す。
3. 左図 (2) の要領で、ラゲージランプのツメ嵌合 (2箇所) を外し、コネクターの接続を外してラゲージランプを取り外す。

⚠️ アドバイス

取り外した車両部品は再使用しますので、紛失しないようにご注意ください。

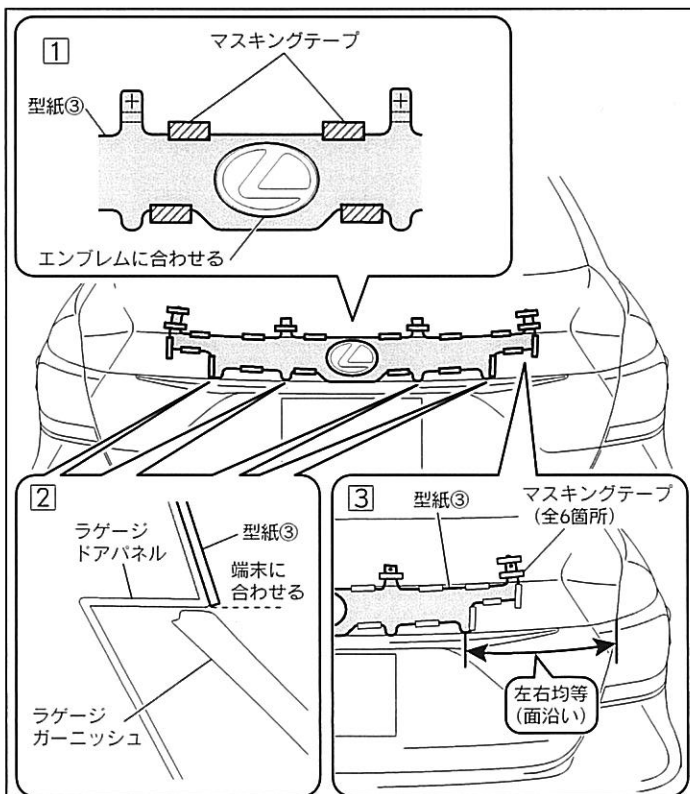
4. クリップリムーバーでクリップ (4個) およびインサートクリップ (11箇所) を取り外し、ラゲージドアトリムを取り外す。

⚠️ アドバイス

パワーラゲージドア車の場合、左図に示すベゼルのツメ嵌合 (2箇所) を外し、ベゼルを先に取り外してください。

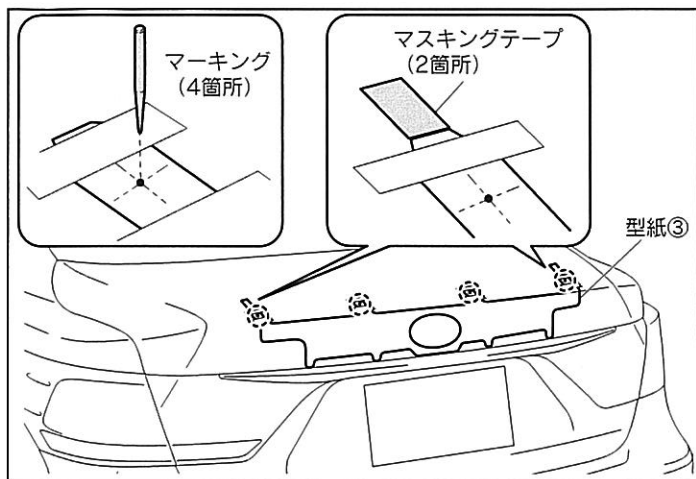
5. ラゲージドアを閉める。

リヤスポイラーの取り付け準備



ラゲージドアパネルの穴開け準備

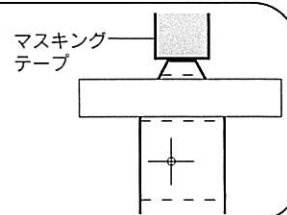
1. 左図 (1) の要領で、型紙③をエンブレムに合わせる。
2. 左図 (2) の要領で、型紙③の下端 (4箇所) をラゲージガーニッシュの端末に合わせ、左図 (1) の要領で、型紙③に印刷してある破線部 (16箇所) をマスキングテープで固定する。
3. 左図 (3) に示すように、型紙③の頂点とラゲージ端末 (R止まり) との形状沿いの距離を測り RH、LH 共に均等になっているか必ず確認を行う。
4. 左図 (3) の要領で、型紙③に印刷してある破線部上端 (6箇所) をポンチ穴に被らないように、マスキングテープで固定する。



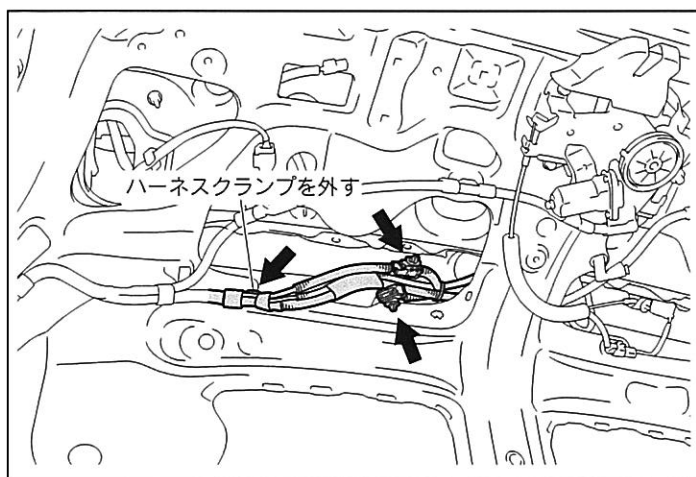
5. 穴開け中心 (4 箇所) をポンチでマーキングする。
6. 左図の要領で、型紙の両外側先端 (2 箇所) にマスキングテープを貼り付ける。

⚠️ アドバイス

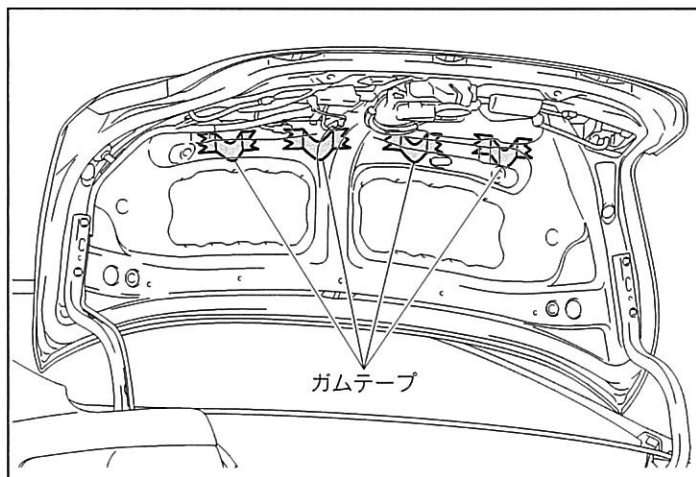
貼り付けたマスキングテープは、リヤスポイラー取り付け時の基準になります。



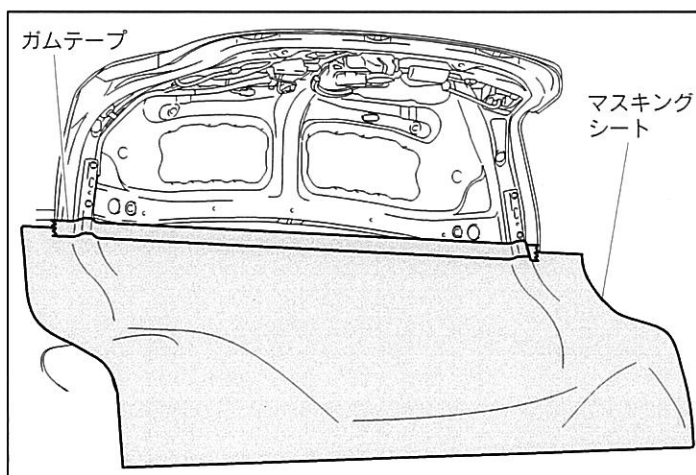
7. 型紙③をはがす。



8. ラゲージドアを開ける。
9. 左図に示すようにハーネスクランプ (3 箇所) を外す。
10. 外したクランプ付近のハーネスをラゲージドアインナーの外側に取り出しガムテープで貼り付ける。



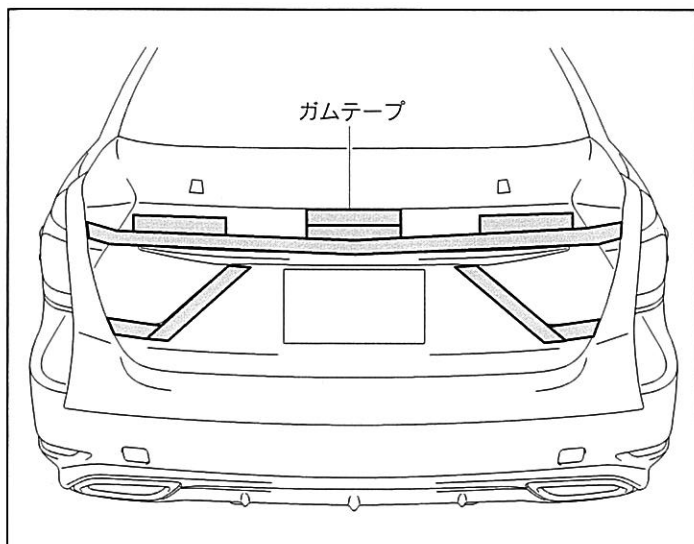
11. 穴開け時の切粉の飛散を防ぐため、左図の要領で、ラゲージドアインナーの作業穴から、ラゲージドアアウター側マーキング位置裏面に、ガムテープ (4 箇所) を貼り付ける。



12. ラゲージ内に穴開け時の切粉が入るのを防ぐために、左図の要領でマスキングシートを貼り付ける。

⚠️ アドバイス

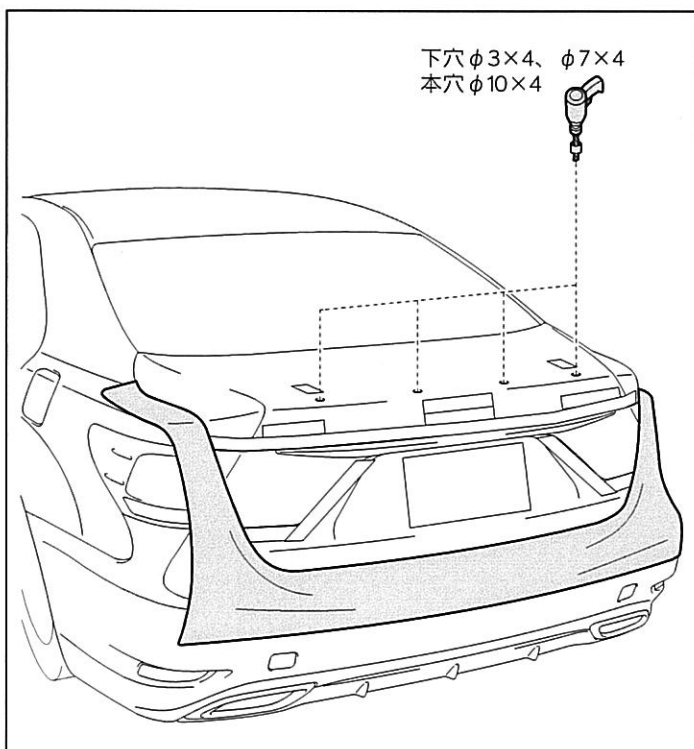
ラゲージドアより幅が広く、ラゲージ開口が隠れるサイズの物を貼り付けてください。



13. 左図の要領で、見切り部およびエンブレム部をガムテープでマスキングする。

⚠️ アドバイス

マスキングは必ず行ってください。マスキングを行わないと、見切り部およびエンブレムの隙間に切粉が入り、錆が発生する恐れがあります。

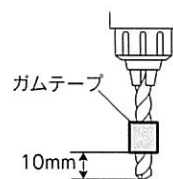


ラゲージドアパネルの穴開け

1. マーキングを行った箇所にφ3の下穴(4箇所)を開けた後、φ7の下穴(4箇所)を開ける。
2. 下穴を開けた箇所にφ10(4箇所)の本穴を開ける。

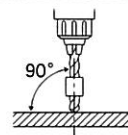
⚠️ 注意

穴開け作業の際は、他部品の傷付き防止およびラゲージドアインナー貫通防止のため、ドリル先端から約10mmの位置にストッパーとなるようにガムテープを巻いてください。

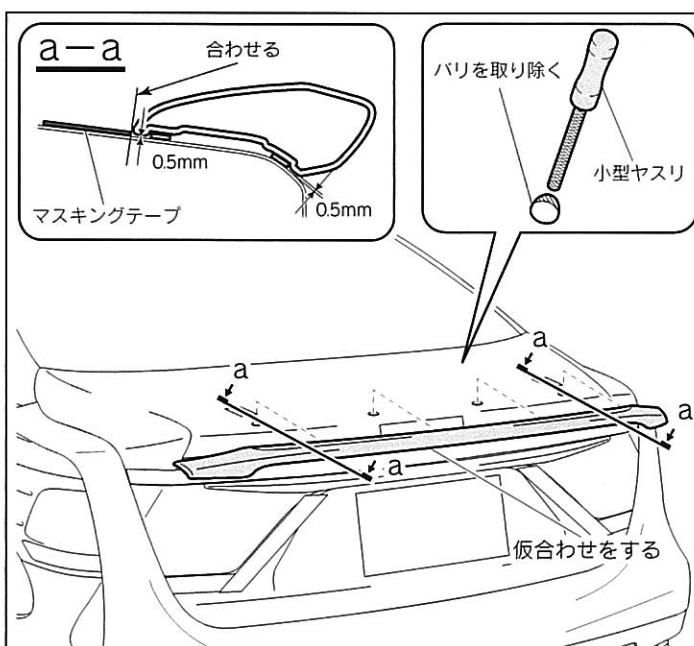


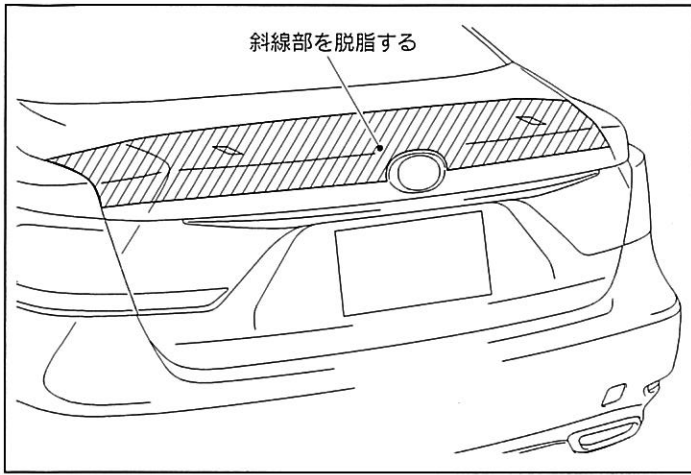
⚠️ アドバイス

穴開けは真円を出すためラゲージドアパネルに対し、直角にドリルを当ててください。



3. エアーガンを使用して、ラゲージドアパネルに付着した切粉を除去する。
4. リヤスポイラー①の前側がマスキングテープの位置で、全周0.5mm隙になるように仮合わせし、穴の位置が合っていることを確認し、前後左右の調整が出来なければ、小型ヤスリで穴の大きさを調整する。
5. ラゲージドアを開け、ラゲージドアアウター裏面の穴部に貼り付けたガムテープ(4箇所)をはがす。
6. 小型ヤスリで穴部のバリを取り除き、残っているガムテープを全てはがす。
7. 車両に付着した切粉を、掃除機等を使用して除去する。
8. マグネットハンドで、ラゲージドアパネル内部に落ちた切粉を取り除く。
9. 貼り付けたマスキングシートをはがす。
10. 防錆剤を穴部に塗布し、完全に乾燥させる。



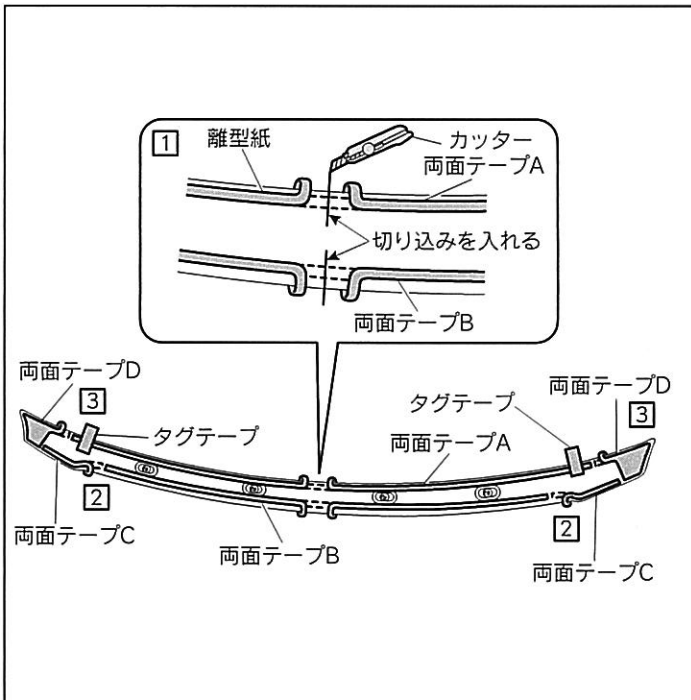


ラゲージドアパネルの脱脂作業

1. ホワイトガソリンを使用し、左図斜線部を脱脂する。

⚠ 注意

作業後、脱脂部には触れないようにご注意ください。



離型紙の処理

1. リヤスポイラー①の離型紙を固定しているタグテープをはがす。
2. 左図 (①) の要領で、リヤスポイラー①両面テープ A、B 離型紙の中央部にそれぞれカッターで切り込みを入れ、左右にそれぞれ 30mm 程度めくり、表側にマスキングテープで固定する。

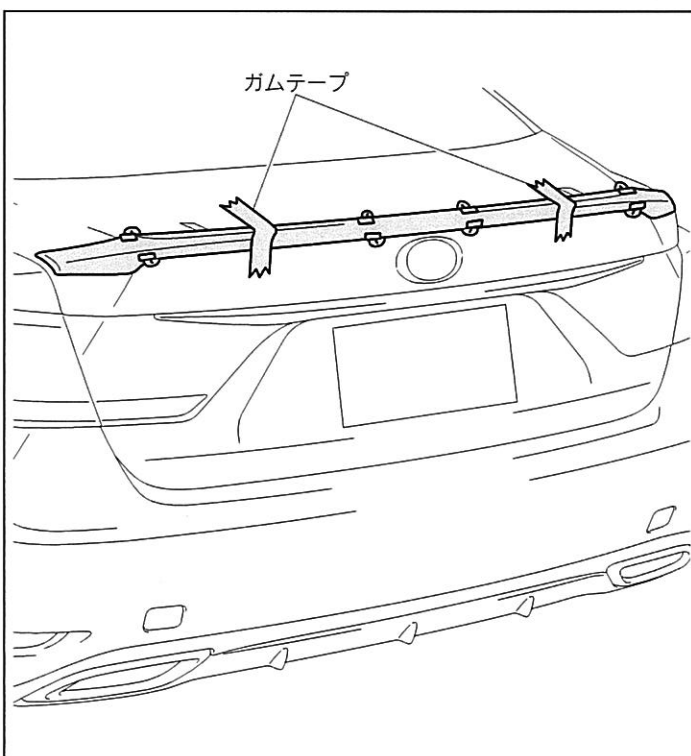
⚠ 注意

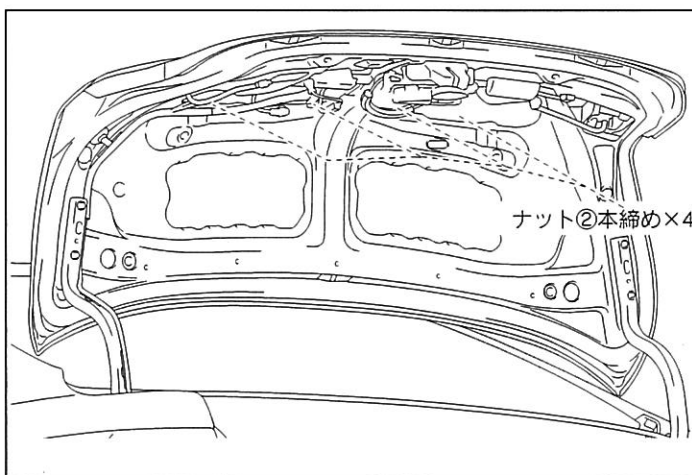
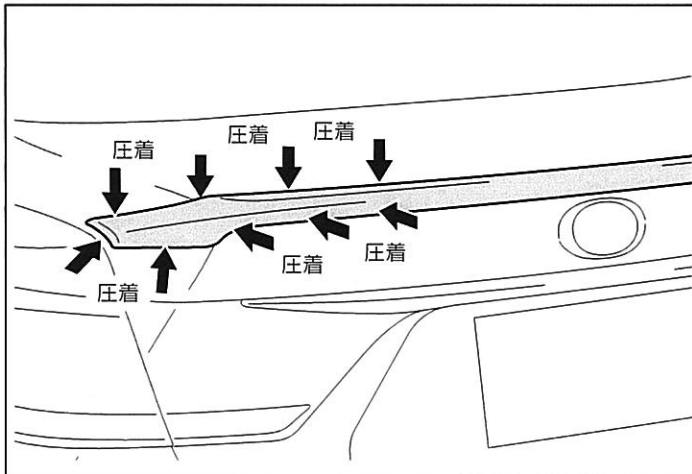
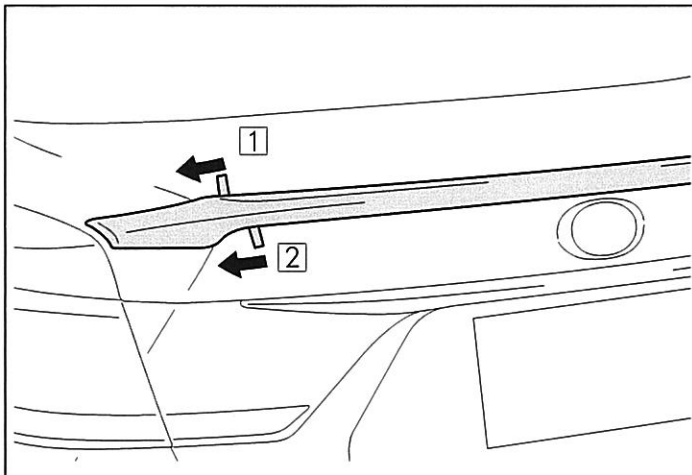
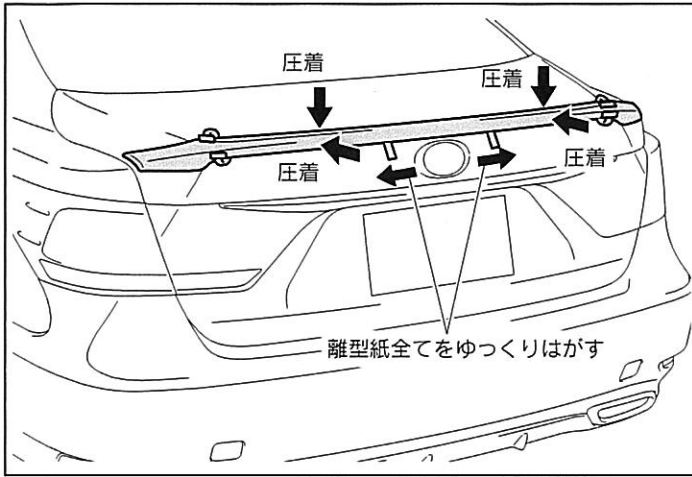
カッターを使用する際は、ケブラー手袋を使用してください。

3. 左図 (②) の要領で、リヤスポイラー①両面テープ C (RH/LH 各1箇所) の離型紙を、内側から外側に向かって 30mm 程度めくり、表側にマスキングテープで固定する。
4. 左図 (③) の要領で、リヤスポイラー①両面テープ D (RH/LH 各1箇所) の離型紙を、内側から外側に向かって 30mm 程度めくり、表側にマスキングテープで固定する。

リヤスポイラーの仮組み付け

1. リヤスポイラー①のボルト (4本) をラゲージドアパネルの取り付け穴に合わせてセットし、脱落防止のため、ガムテープで固定する。

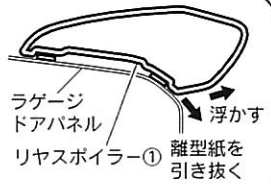




3. 左図の要領で、車両中央後側の離型紙（RH/LH 各1箇所）をはがし圧着する。

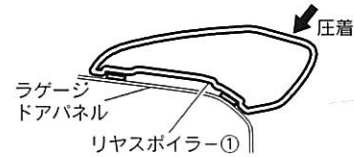
アドバイス

離型紙が途中で切れてしまわないよう、リヤスポイラー①を浮かしながら引き抜くようにはがしてください。



注意

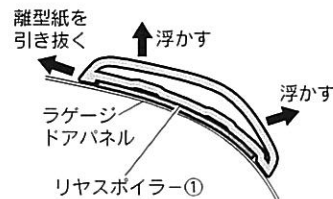
両面テープ部の圧着は 49N 以上で行ってください。49N 以上で圧着しないと、両面テープがはがれ、隙間が発生する恐れがあります。



4. リヤスポイラー①とラゲージパネルとの隙が 0.5mm であることを確認し、左図①～②の順番で離型紙をはがし圧着する。

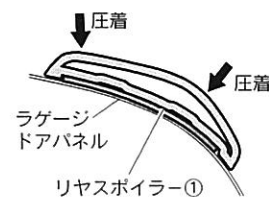
アドバイス

離型紙が途中で切れてしまわないよう、リヤスポイラー①を浮かしながら引き抜くようにはがしてください。



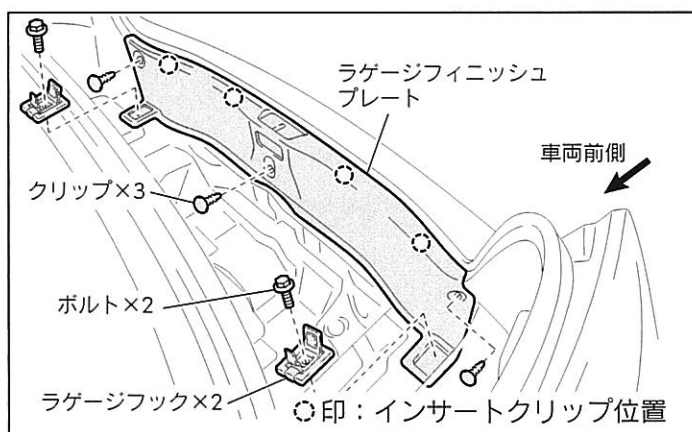
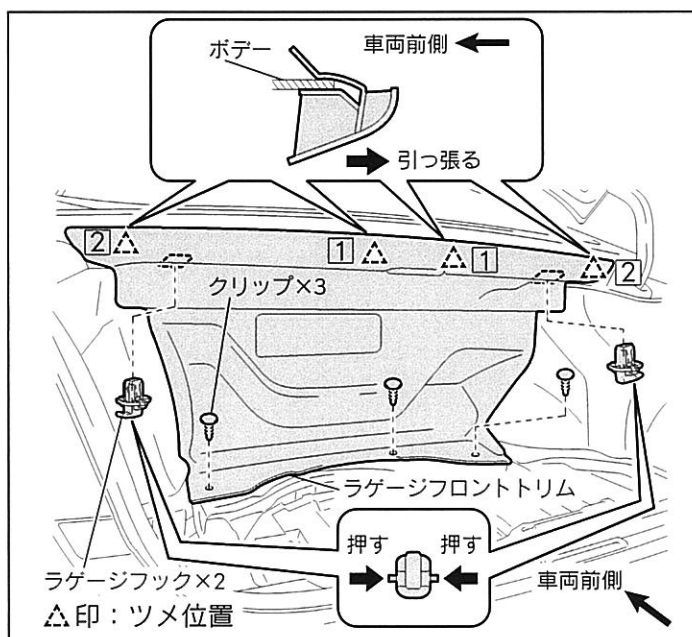
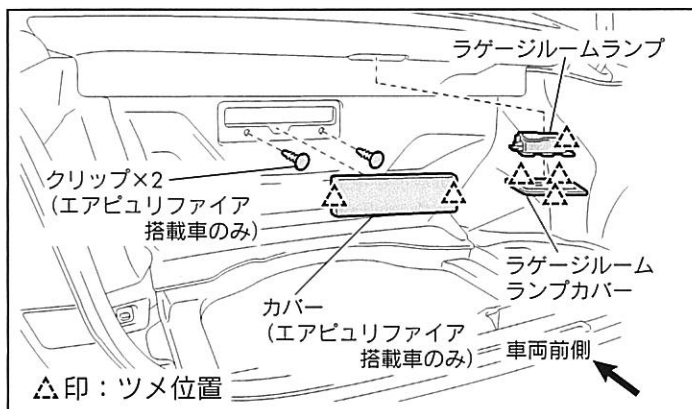
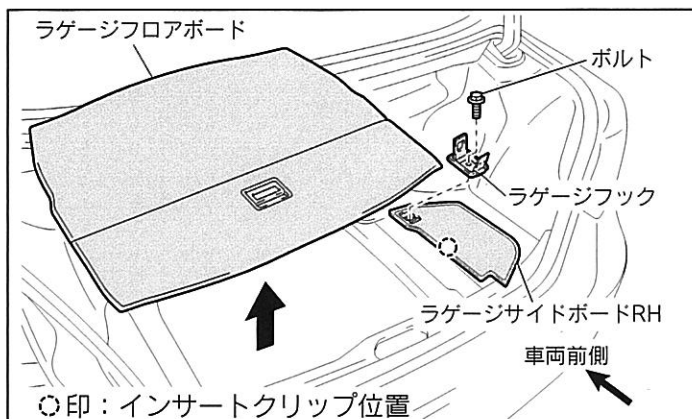
注意

両面テープ部の圧着は 49N 以上で行ってください。49N 以上で圧着しないと、両面テープがはがれ、隙間が発生する恐れがあります。



リヤスポイラーの本締め

1. ラゲージドアを開け、仮締めしたナット②（4 個）を中央から外側の順に本締めする。



ガソリン車の場合

トーションバー取り付け位置の変更

1. ラゲージフロアボードを取り外す。
2. 左図の要領で、ラゲージフックのボルト (RH/LH 各1本) を外し、ラゲージフック (RH/LH 各1個) を取り外す。
3. インサートクリップ (RH/LH 各1箇所) の嵌合を外し、ラゲージサイドボード (RH/LH 各1枚) を取り外す。
4. ラゲージアンダートレイを取り外す。
(パンク修理剤搭載車のみ)
5. 左図の要領で、ツメ嵌合 (3箇所) を外し、ラゲージルームランプカバーを取り外し、ツメ嵌合 (1箇所) を外し、ラゲージルームランプを取り外す。
6. コネクターを取り外す。
7. 左図の要領で、ツメ嵌合 (2箇所) を外し、カバーを取り外す。
(エアピュリファイア搭載車のみ)
8. クリップ (2個) を取り外す。
(エアピュリファイア搭載車のみ)
9. ラゲージフック (2個)、クリップ (3個) およびツメ嵌合 (4箇所) を外し、ラゲージフロントトリムを取り外す。

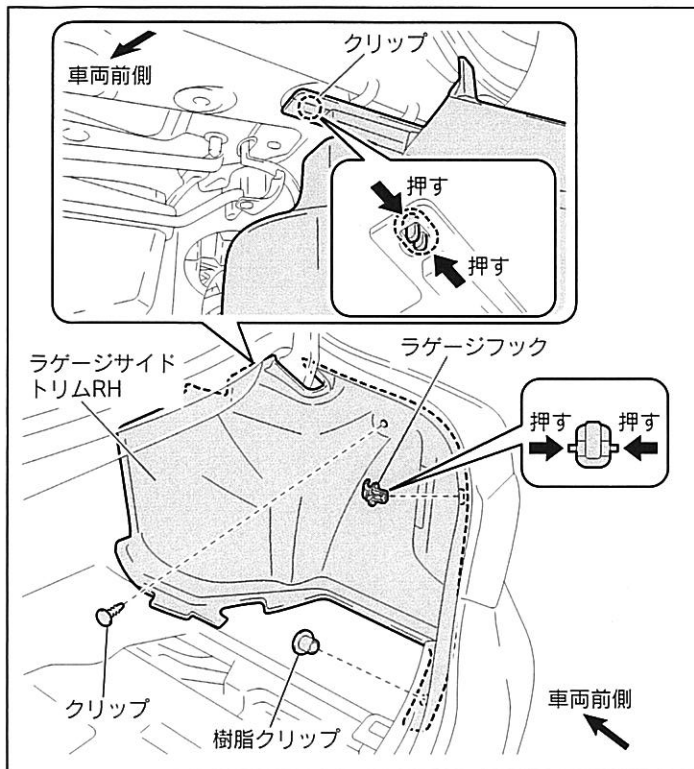
⚠ 注意

- ・ ラゲージフロントトリム上部のツメは、左図の順序で取り外してください。左図の順序以外で取り外すとラゲージフロントトリムが変形する恐れがあります。
- ・ ラゲージフロントトリムに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。

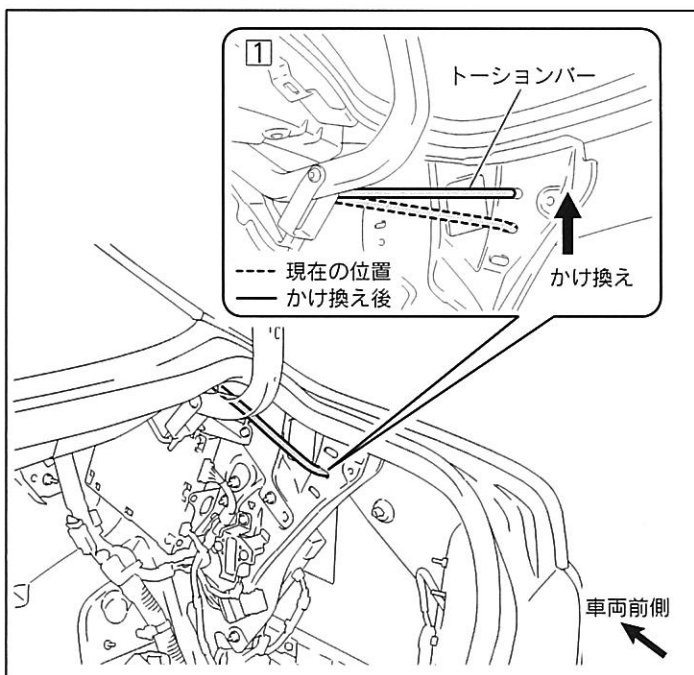
10. 左図の要領で、ラゲージフックのボルト (2本) を外し、ラゲージフック (2個) を取り外す。
11. クリップ (3個) およびインサートクリップ (4箇所) を外し、ラゲージフィニッシュプレートを取り外す。

👉 アドバイス

ラゲージフィニッシュプレートを外す際は、真上にあげると外しやすくなります。



12. 左図の要領で、ラゲージサイドトリム RH のクリップ (1箇所)、ラゲージフック (1個)、クリップ (1個) および樹脂クリップ (1個) を外し、ラゲージサイドトリム RH を取り外す。



13. トーションバーを現在の位置から左図 (①) に示す位置にかけ換える。

14. LH 側も同様に作業する。

車両部品の取り付け

1. 取り外した車両部品は、取り外しと逆の手順で車両に取り付ける。

取り付け完了後の点検・注意事項

1. 取り付け確認

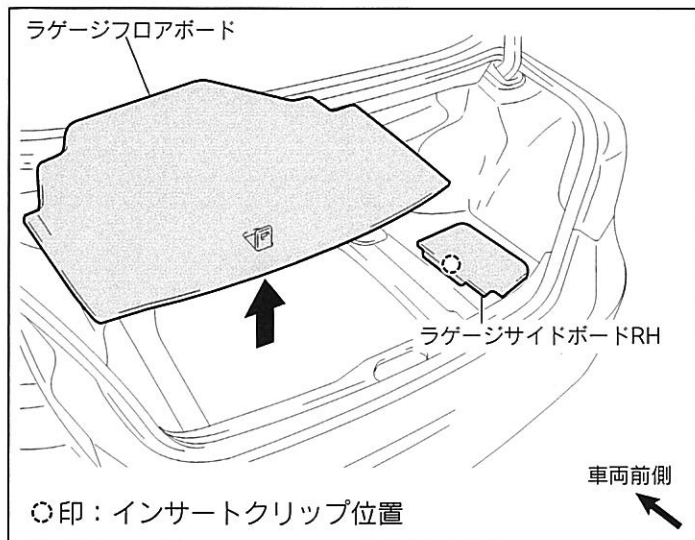
- (1) リヤスポイラーが確実に固定されているか点検する。
- (2) 両面テープの全ての離型紙がはがされ、確実に圧着されているか点検する。
- (3) 取り付けの際、リヤスポイラーおよび車両部品に傷を付けていないか点検する。

2. 注意事項

- (1) 取り付け後 20 分間は雨等で濡れる事のないように注意してください。両面テープがはがれ、ラゲージドアパネルとリヤスポイラーとの間に隙間が発生する恐れがあります。

バッテリー復元時の注意事項

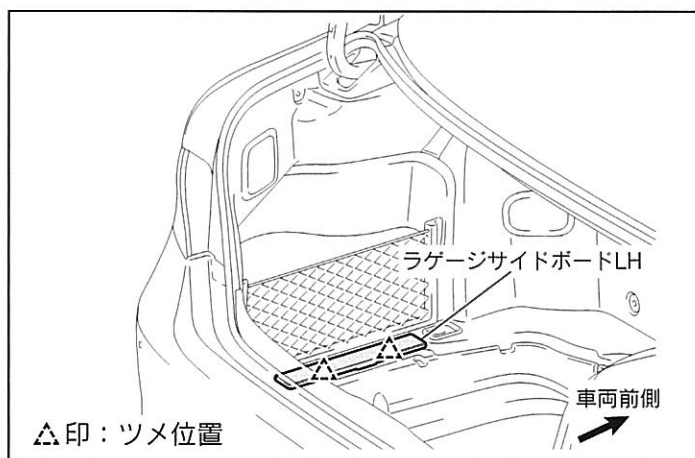
バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。



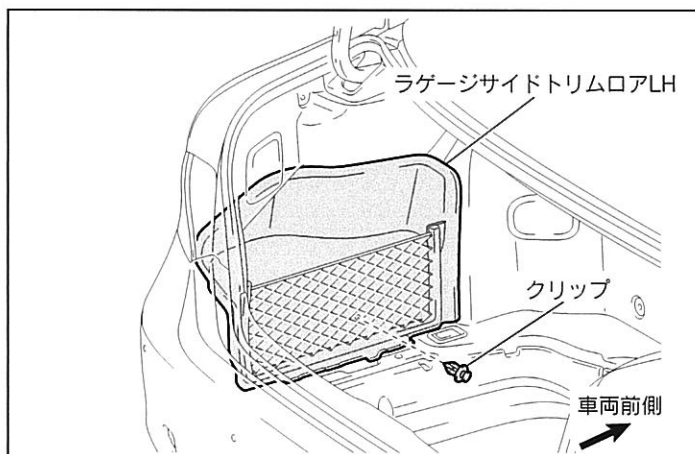
ハイブリッド車の場合

トーションバー取付位置の変更

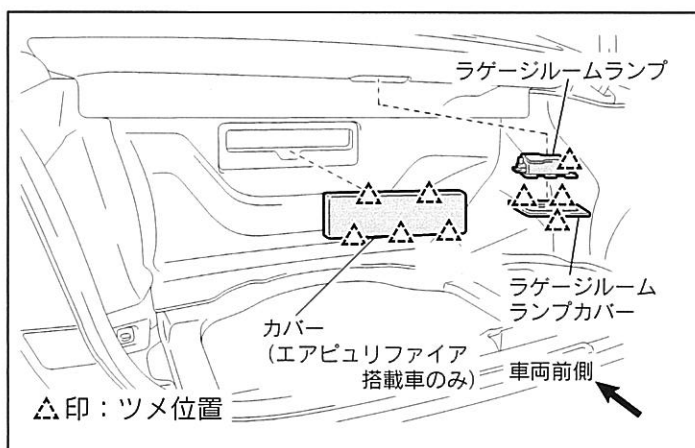
1. ラゲージフロアボードを取り外す。
2. 左図の要領で、インサートクリップ (1箇所) の嵌合を外し、ラゲージサイドボード RH を取り外す。



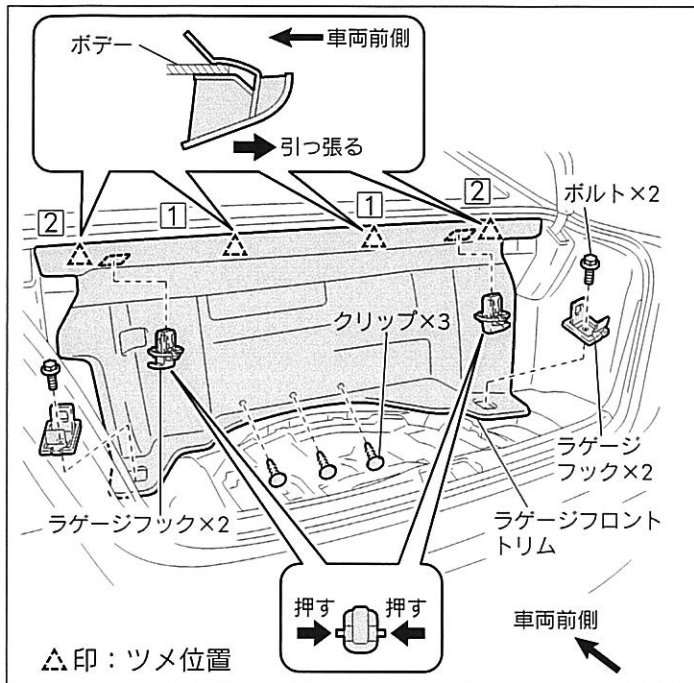
3. 左図の要領で、ツメ嵌合 (2箇所) を外し、ラゲージサイドボード LH を取り外す。



4. 左図の要領で、ラゲージサイドトリムロア LH のクリップ (1個) を外し、ラゲージサイドトリムロア LH を取り外す。
5. ラゲージアンダートレイを取り外す。



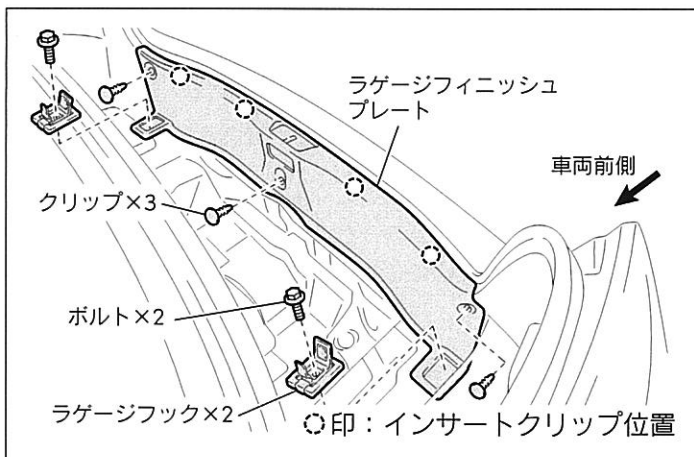
6. 左図の要領で、ツメ嵌合 (3箇所) を外し、ラゲージルームランプカバーを取り外し、ツメ嵌合 (1箇所) を外し、ラゲージルームランプを取り外す。
7. コネクターを取り外す。
8. 左図の要領で、ツメ嵌合 (5箇所) を外し、カバーを取り外す。
(エアピュリファイア搭載車のみ)



9. 左図の要領で、ラゲージフックのボルト (2 本) を外し、ラゲージフック (2 個) を取り外す。
10. ラゲージフック (2 個)、クリップ (3 個) およびツメ嵌合 (4 箇所) を外し、ラゲージフロントトリムを取り外す。

⚠ 注意

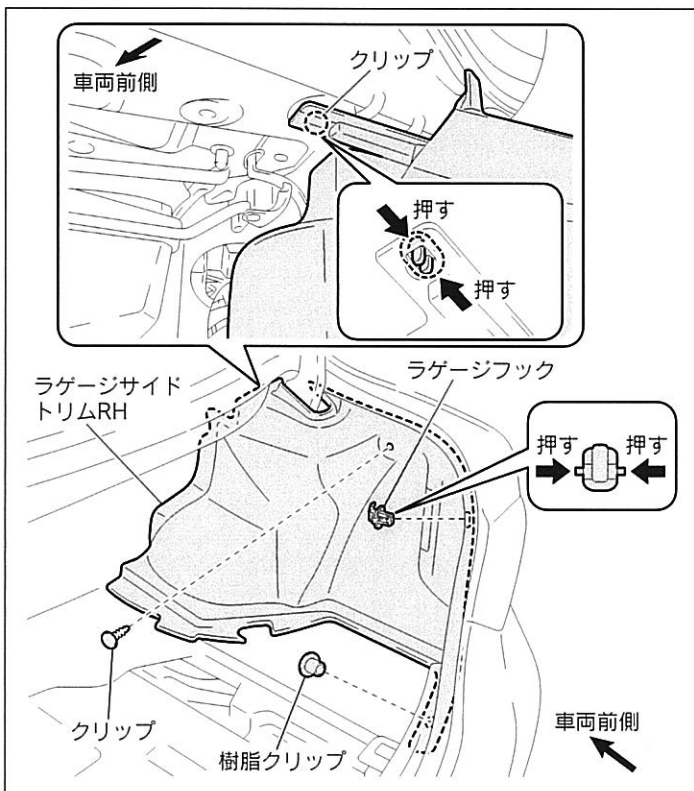
- ・ ラゲージフロントトリム上部のツメは、左図の順序で取り外してください。左図の順序以外で取り外すとラゲージフロントトリムが変形する恐れがあります。
- ・ ラゲージフロントトリムに無理な力を加えて折り曲げないように注意してください。



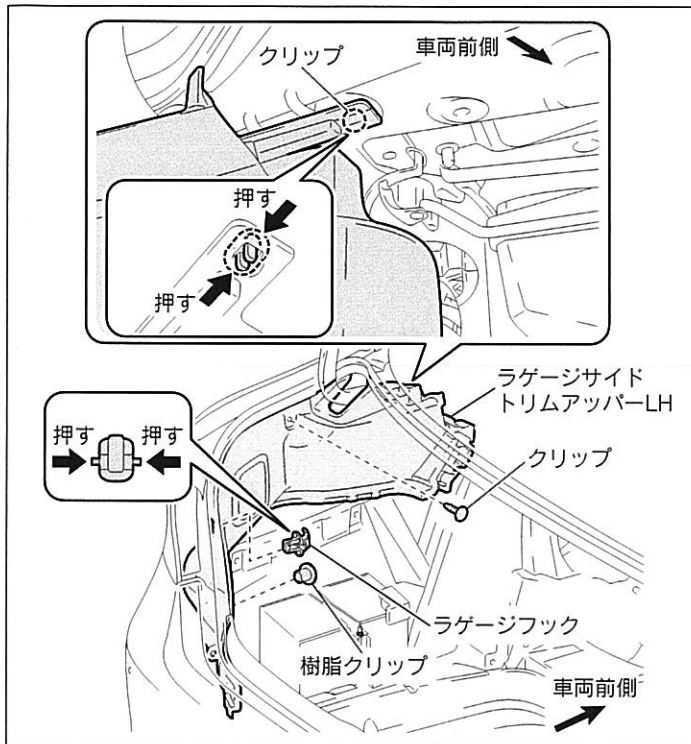
11. 左図の要領で、ラゲージフックのボルト (2 本) を外し、ラゲージフック (2 個) を取り外す。
12. クリップ (3 個) およびインサートクリップ (4 箇所) を外し、ラゲージフィニッシュプレートを取り外す。

🔧 アドバイス

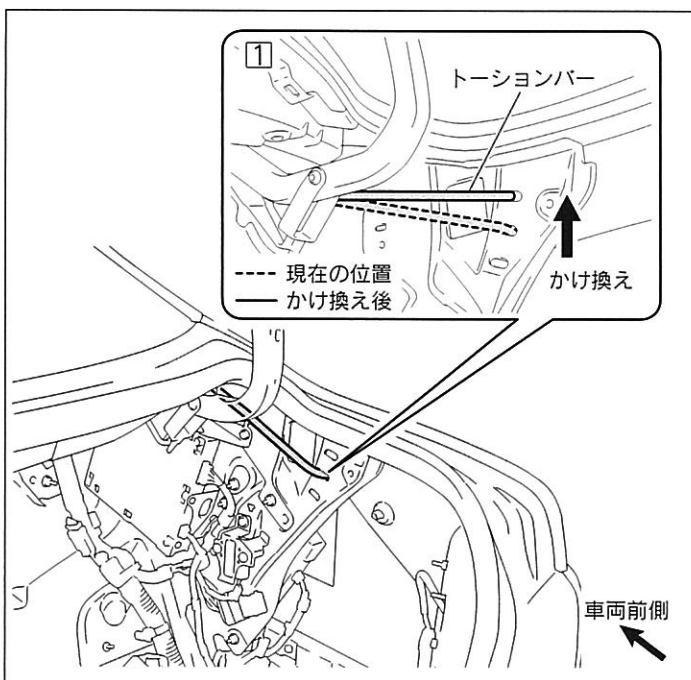
ラゲージフィニッシュプレートを外す際は、真上にあげると外しやすくなります。



13. 左図の要領で、ラゲージサイドトリム RH のクリップ (1 箇所)、ラゲージフック (1 個)、クリップ (1 個) および樹脂クリップ (1 個) を外し、ラゲージサイドトリム RH を取り外す。



14. 左図の要領で、ラゲージサイドトリムアップパー LH のクリップ (1箇所)、ラゲージフック (1個)、クリップ (1個) および樹脂クリップ (1個) を外し、ラゲージサイドトリムアップパー LH を取り外す。



15. トーションバーを現在の位置から左図 (①) に示す位置にかけ換える。

16. LH 側も同様に作業する。

車両部品の取り付け

1. 取り外した車両部品は、取り外しと逆の手順で車両に取り付ける。

取り付け完了後の点検・注意事項

1. 取り付け確認

- (1) リヤスポイラーが確実に固定されているか点検する。
- (2) 両面テープの全ての離型紙がはがされ、確実に圧着されているか点検する。
- (3) 取り付けの際、リヤスポイラーおよび車両部品に傷を付けていないか点検する。

2. 注意事項

- (1) 取り付け後 20 分間は雨等で濡れる事のないように注意してください。両面テープがはがれ、ラゲージドアパネルとリヤスポイラーとの間に隙間が発生する恐れがあります。

バッテリー復元時の注意事項

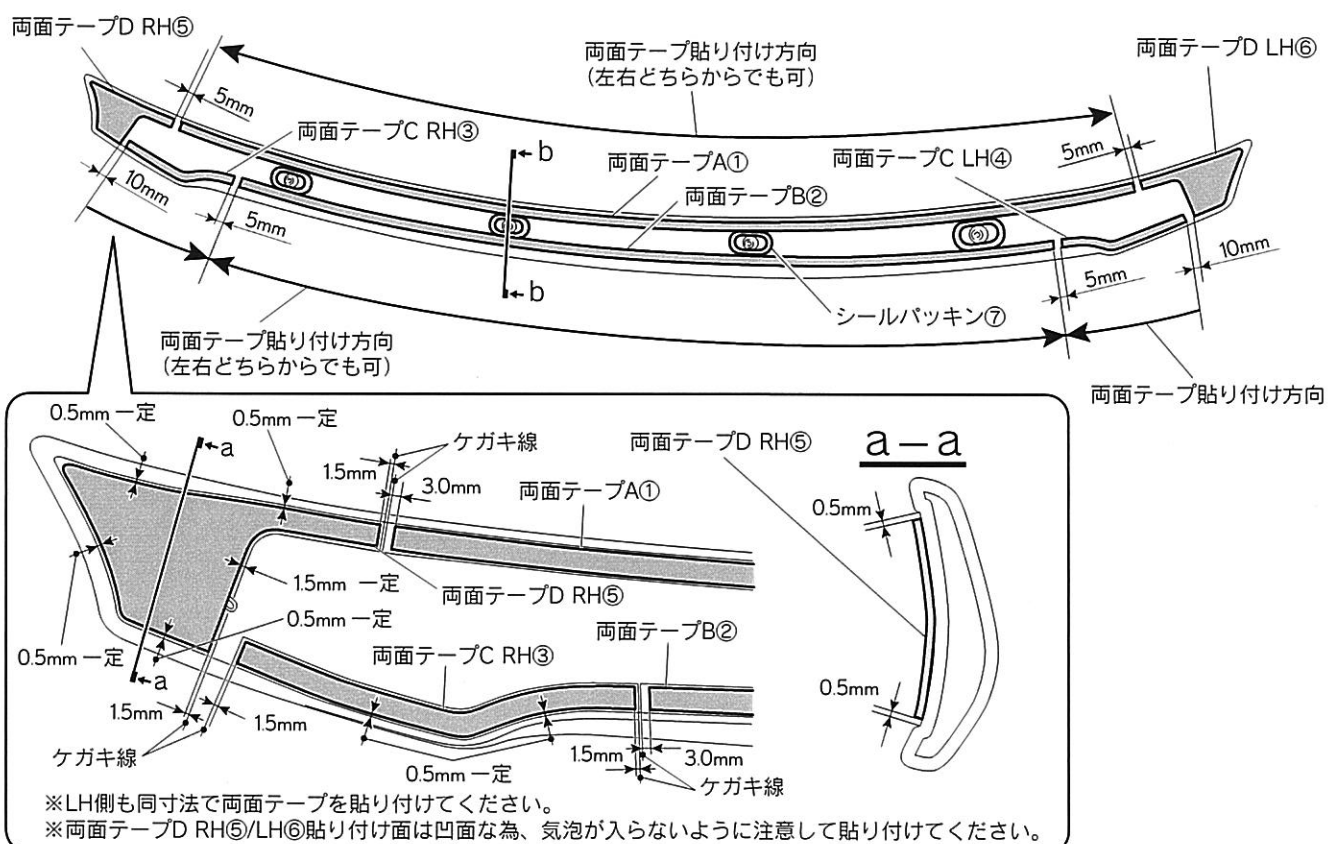
バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

補修用品の取り扱いについて

取付部品

No.	品 名	個数
①	両面テープA 【8×1120 mm t1.6】	1
②	両面テープB 【8×960 mm t1.6】	1
③	両面テープC RH	1
④	両面テープC LH	1
⑤	両面テープD RH	1
⑥	両面テープD LH	1
⑦	シールパッキン	4

加工要領



本体の塗装

1. b - b 断面を参考に塗装を行う。

両面テープおよびシールパッキンの貼り付け

1. 両面テープ貼り付け部を脱脂する。
2. a - a 断面、b - b 断面および上図の寸法を参考に、両面テープA①、B②、C RH③、C LH④、D RH⑤、D LH⑥およびシールパッキン⑦を貼り付ける。
3. 貼り付けた両面テープを 49N 以上で圧着する。